

# 日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール 2011年6月19日版 日本小児科学会



	種類	乳児期					幼児期					学童期							
		2か月	3か月	4か月	5か月	6~8か月	9~11か月	12か月	15か月	18か月	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳以上
インフルエンザ菌b型(ヒブ)	不活化	①	②	③			④												
肺炎球菌(PCV7)	不活化	①	②	③			④												
B型肝炎(HBV) <small>(注1)</small>	不活化	①	②			③													①②③(注2)
三種混合(DPT)	不活化		①	②		③		④(注3)					(7.5歳まで)						
BCG	生		①																
ポリオ	生			①				②					(7.5歳まで)						
麻疹、風疹(MR)	生							①					②						③④中1、高3での接種(注4)
水痘	生							①					②(注5)						
流行性耳下腺炎	生							①					②(注5)						
日本脳炎	不活化									①	②	③		(7.5歳まで)	(注6)		④9~12歳	①②③(注6)	(注6)
インフルエンザ	不活化																		毎年(10月、11月など)に①、②
二種混合(DT)	不活化																		11~12歳①
ヒトパピローマウイルス(HPV)	不活化																		①②③

定期接種の推奨期間
  任意接種の推奨期間
  定期接種の接種可能な期間
  任意接種の接種可能な期間
  添付文書には記載されていないが、小児科学会として推奨

# 日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール 標準的接種期間と注意事項



定期接種



任意接種

ワクチン	種類	標準的接種期間	注意事項
インフルエンザ 菌b型(ヒブ)	不活化	①-②-③の間はそれぞれ3-8週あける ③-④の間はおおむね1年あける	7か月-11か月で初回接種：①、②の後の1年後に追加③ 1歳-4歳で初回接種：①のみ
肺炎球菌(PCV7)	不活化	①-②-③の間はそれぞれ27日以上あける ③-④の間は60日以上あけて、1歳から1歳3か月で接種	7か月-11か月で初回接種：①、②の接種後60日以上あけて1歳以降に追加③ 1歳-23か月で初回接種：①、②を60日以上あける 2歳-9歳以下 初回接種：①のみ
B型肝炎(HBV)	不活化	①-②の間は4週間隔 ①-③の間は20-24週経過後 [ただし、B型肝炎母子感染対策事業による接種スケジュール(生後2、3、5か月)に準じてよい]	(注1) B型肝炎抗原(HBsAg)陽性の母親から出生した児に対するB型肝炎母子感染対策事業による接種スケジュール(生後2、3、5か月)に準ずる接種時期に関しては、今後更なる検討が必要 (注2) 乳児期に接種していない児の水平感染予防のための接種
三種混合(DPT)	不活化	①-②-③の間はそれぞれ20~56日までの間隔(注3) ③-④の間は6か月以上あけ、標準的には③終了後12-18か月の間に接種	予防接種法では、生後3か月から生後90か月(7.5歳)未満の児が対象
BCG	生	生後3か月から6か月未満に接種	やむを得ない事情を有する場合のみ1歳まで定期接種可能
ポリオ	生	①、②：生後3か月から18か月 ①と②の間は41日以上あける	予防接種法では、生後3か月から生後90か月(7.5歳)未満の児が対象、不活化ポリオワクチンへの移行が望まれる
麻疹、風疹(MR)	生	①：1歳以上2歳未満 ②：5歳以上7歳未満で小学校就学前の1年間にあるもの ③：中学1年生相当年齢の者④：高校3年生相当の者	①は、1歳の出来るだけ早期に接種 (注4) ③と④は2008年度から2012年度の限定措置4月から6月の間に接種を促すこと 2011年5月20日~2012年3月31日までの間、高校2年生相当の年齢の者(17歳となる年度)を追加。運用については実施要領 <a href="http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/teiki-yobou/07.html">http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/teiki-yobou/07.html</a> を参照。
水痘	生	①：1歳以上 ②：5歳以上7歳未満	(注5) ワクチン接種によって自然感染によるブースターがなくなると、2回接種が必要
流行性耳下腺炎	生	①：1歳以上 ②：5歳以上7歳未満	(注5) ワクチン接種によって自然感染によるブースターがなくなると、2回接種が必要
日本脳炎	不活化	①、②：3歳 ①-②の間は6-28日までの間隔 ③：4歳 ④：9歳	(注6) 2005年5月からの積極的推奨の差し控えを受けて、初回免疫からの接種を行う場合のスケジュール初期からの接種を行う場合のスケジュール 予防接種法では、生後6か月から生後90か月(7.5歳)未満(第1期)、9歳以上13歳未満(第2期)が対象 なお、日本脳炎の第1期、第2期の接種が行われていない可能性のあるものに対する具体的な接種については実施要領 <a href="http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/teiki-yobou/07.html">http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/teiki-yobou/07.html</a> を参照。
インフルエンザ	不活化	①-②の間は4週間(1~4週)	13歳未満：2回、13歳以上：1回
二種混合(DT)	不活化	①11歳から12歳まで	予防接種法では11歳以上13歳未満 百日咳患者の増加から、DPTへの移行を検討中
ヒトパピローマウイルス(HPV)	不活化	10歳以上の女児 ①-②の間は1か月、①-③の間は6か月あける	筋肉内注射(上腕三角筋)

2011年6月19日版 日本小児科学会

